

## “平子の森”利活用トライアル事業

### 令和二年度 官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム 中部ブロックサウンディング結果

#### 1 目的

尾張旭市が所有する大学等跡地“平子の森”について、萌芽的な利活用をはじめめるにあたり、民間事業者等の皆様による「トライアル事業」の募集を検討しています。

このたび、利活用の条件や市場性等について、民間事業者等の皆様から意見を伺うため、国土交通省が主催するサウンディングに参加しました。

#### 2 実施日時

令和3年1月29日（金） 12時45分から13時45分まで

#### 3 参加者数

12社

#### 4 調査概要・結果

##### (1) 当該地の市場性について

- ・守山スマートICにも近く、市場性は高いと感じる。
- ・大学や小学校の跡地であることを考えると、活用のしがいがある。
- ・特別に交通アクセスに優れている訳でもなく、面積も中途半端と感じる。
- ・建築ができないため、長期間の事業は厳しい。
- ・アウトドアやスポーツ関係の事業は検討の余地がある。

##### (2) 事業展開における各種インフラの必要性、市の責務や要望について

- ・上水道、下水道の延伸、電気等のインフラ整備は市に要望したい。
- ・コロナ禍においては、上水道は必須である。

- ・インフラの必要性は、事業内容により異なり、柔軟に考える必要がある。
- ・インフラの整備費用負担は、行政と民間が負担を分け合う考え方が必要である。

(3) 事業の期間や利用料等の条件について

- ・事業期間は、トライアル期間であれば、5年間で良いと思う。
- ・今回の対象地以外の活用を含め、発展的な提案も受ける必要があるのではないか。
- ・トライアル期間以降の利活用について方向性を示してもらいたい。
- ・社会実験的に、短期間の事業を繰り返すことも利活用の方法である。
- ・トライアル期間の無償貸付は、とても魅力的である。
- ・無償でなければ、活用は難しい。

5 今後の予定

民間事業者様からいただいたご意見を参考にするとともに、追加対話を行い、トライアル事業の募集要件の整理を進めます。